



No.250
2021.1.10

四季報

発行
藤沢探鳥クラブ
〒251-0038
藤沢市鵜沼松が岡 5-13-13
藤山方 0466-25-1817



コクガン（2020年12月藤沢市江ノ島）撮影：濱 伸二郎

<1月例会> 1月17日（日）

相模川中流探鳥会

（平坦） ※雨天中止

相模川右岸の酒井スポーツ広場から小田急の鉄橋を過ぎるまで、冬鳥、カモ類、タカ類を探しながら河原をゆっくり歩きます。

集合 7:55 小田急藤沢駅改札、8:00 快急新宿行最前車両乗車(湘南台 8:06)、相模大野乗換

(8:33 発)本厚木下車、本厚木駅南口バス停(平53)8:55 発平塚駅北口行乗車、酒井下車

持ち物 観察用具、弁当、飲み物、帽子、マフ等

解散 現地 14:00 頃、(小田急厚木駅まで歩きます)

担当 青山 0466-87-2489・谷 0466-34-0381

<2月例会> 2月21日（日）

平塚土屋・巖島湿生公園探鳥会

（一部登坂有り） ※雨天中止

探鳥コースは、高台の畑地帯、林、池、小川と変化に富んでいて場所ごとに鳥の変化が有り楽しませてくれます。

集合 JR 平塚駅 東改札口 8:35

(参考) JR 熱海行 平塚 8:30 茅ヶ崎 8:25

辻堂 8:22 藤沢 8:18 戸塚 8:09

バス停 2番乗場 8:42 発 平76 秦野駅南口行土屋霊園入口下車

持ち物 観察用具、弁当、飲み物、防寒具

解散 五分一バス停 2時頃 (バスで二宮駅へ出ます)

担当 谷 0466-34-0381・中村 0467-52-9043

あけましておめでとうございます。

藤山 素子

今年の初春、私たちは今までに経験したことのない劣悪な状況の下で過ごすことを余儀なくされています。

こんな状況の今シーズン、1人探鳥をして見ませんか？

大勢で歩くのとたくさんの目があり、多種が見られたり、教えられたり教えたりと楽しい時間を過ごすことができます。

一方、1人での探鳥は自分のペースで足を進めることができます。鳥の現れそうな場所を発掘するもよいし、マイフィールドを決めての観察も興味深い発見があるかもしれません。個々の鳥たちが印象深く目に刻まれ、自分自身の向上にもつながるでしょう。

藤沢探鳥クラブは新型コロナウイルス感染拡大に対応しながら、探鳥会を企画し、仲間との交流を続けてまいりたいと考えております。

この困難な時期、鳥仲間との交流は制限されますが、コロナ禍の収束が感じられたら、思い切り情報交換をいたしましょう！

感染拡大防止の諸事項を守り、一日も早い収束を祈り過ごしてまいりましょう。

川名通年探鳥会

11月1日(日)

8:00~10:45 晴
森 静子

朝のひんやりした空気の中、風もなく気持ちよく出発した。

柏尾川沿いに入ってからイソヒヨドリ(メス)、ジョウビタキ、シジウカラと可愛い姿が見られ、流石11月ともなると種類も多くなり、馴染みの鳥たちに出会い探鳥の醍醐味を味わうことが出来ました。只、今日はカモ類のお出ましが少なくヒドリガモの番のみの記憶です。

後半の谷戸ではノコンギク、ヨメナ、ベニバナボロギクなどの草花が見られ、モズが木のてっぺんで存在を誇示するかのように止まっています。鳥と草花の秋の風景を楽しみました。

見聞きした鳥 ヒヨドリ、ジョウビタキ、シジウカラ、ハクセキレイ、ハシブトガラス、トビ、イソヒヨドリ、ムクドリ、カワラヒワ、イソシギ、ヒドリガモ、コサギ、アオサギ、オオバン、カワセミ、モズ、ヒメアマツバメ、スズメ、カワウ、ウグイス、ハイタカ、ノスリ、ハシボソガラス、コガモ、ホオジロ、キジバト、メジロ(27種) 新林公園で解散後境川にてユリカモメ(6)、カルガモ(3)、奥田公園でヤマガラ(3種)

表紙写真説明 (2020.12.1撮影)

ガン類の中で唯一、海を生活の場にしています。湘南海岸では、11、12月や3月頃に見ることがあります。コクガンは主に北海道、東北地方の沿岸に来る冬鳥です。鳥の中では少ない、天然記念物に指定されています。千葉県、東京都の海岸等でも見かけられますが、中部地方方面の沿岸にも少数が渡るために、行く途中や帰る途中に湘南海岸付近にも立ち寄るものと思われます。

黒っぽいカモ科コクガン属の鳥で白い頸輪状斑があり見分けるポイントの一つです。江ノ島の岩場では、表面にあるアオサやイワノリ等海藻を食べていました。この日は、遅れて飛んで来たクロサギに威嚇され食べたいけれど早目に南方面に飛んで行きました。

濱 伸二郎

参加者 城殿博、嶋岡章、佐藤武、藤本悦朗、飯島秀子、石井浩子、福田修子、黄瀬田鶴、森静子、大山厚子、谷誠一、大石正子、菅谷芳雄、高橋和也、青山喜行、橋本孝、藤山素子 (17名)

12月6日(日) 曇り 8:05~10:45

飯島秀子

晴の天気予報がはずれ雲が多い。そのおかげか風の無いのがうれしい。

柏尾川の兩岸の草や木がきれいに刈り取られ、いつもの川の風景とは違っていた。それでもオオバンの数も増え、ユリカモメも飛び交いヒドリガモも♂♀2羽ずつ見られた。

清水谷戸は静かだった。咲き残っていた小さな花も枯れ、葉を落としかった木も多くなりすっかり冬の景色になっていた。

しゅんせつ工事が済んだ後、柏尾川の鳥はもとに戻って来てくれるだろうか。

見聞きした鳥 ハシブトガラス、イソシギ、ヒヨドリ、オオバン、カワセミ、ハシボソガラス、モズ、イソヒヨドリ、トビ、ハクセキレイ、シジュウカラ、カワウ、スズメ、ユリカモメ、ヒドリガモ、カワラヒワ、ウグイス、メジロ、ダイサギ、カルガモ、ジョウビタキ、ムクドリ (22種) 参考：ドバト

参加者 城殿博、田中正信、藤山素子、橋本孝、佐藤武、福田修子、吉野恵子、谷誠一、石井浩子、青山喜行、嶋岡章、飯島秀子、酒井天栄 (13名)

茅ヶ崎清水谷探鳥会

11月15日(日) 9:00~14:00 晴れ

吉野 恵子

秋の澄んだ青空が広がり、街路樹、山々の木々は美しく紅葉。

茅ヶ崎市民の森は樹木がうっそうと茂り、歩道は数日晴天が続いたにもかかわらず湿っており下を見ないと転びそうでした。鳥のさえずりだけで姿は現して貰えず残念。森を出た所で遠くの枯れた竹にモズが、枯れ葉と同色で見過ごしてしまいそうなツグミが枯木に。二羽ともゆっくり羽を休めていました。

里山公園では、小さな池のブロックに成鳥の羽色に変わらぬ若いコガモが数十羽。更に奥に進むもシジュウカラが数羽観られただけでした。

上着が邪魔になるほど暖かい秋晴のもと気持ち良く歩けた探鳥会でした。

見聞きした鳥 シジュウカラ、スズメ、ヒヨドリ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、ジョウビタキ、ヤマガラ、メジロ、モズ、ツグミ、ハクセキレイ、ウグイス、キジバト、カイツブリ、コガモ、カルガモ、オオバン、トビ、コゲラ、マガモとカルガモの交雑種、カシラダカ (21種) (参考：ガビチョウ、コジュケイ)

参加者 青山喜行、飯島秀子、藤本悦郎、石井浩子、本田英明、吉澤真弓、藤山素子、酒井天栄、谷誠一、酒井直美、酒井進、佐藤武、城殿博、野崎直子、吉野恵子、大山厚子、実野悦子、吉澤三郎、中村幸男 (19名)

目久尻川探鳥会

12月20日(日) 快晴 9:10~14:15

嶋岡 章

昨日のユリカモメカウントの時雨にアラレの降る天気から、快晴で風もなく絶好の探鳥会日和でした。スタートしてすぐ、先に着いていたH氏が迎えて、トラフズクを案内してくれ3羽に会うことが出来ました。その後、川でトモエ

ガモに会い、陸の柿の木では残り少ない実をメジロが啄んでいました。

大山がはっきりと見え、例年より積雪が少ない富士山を望見しながら、川岸を歩いて行くと、モズやキセキレイが現れ、川面にはオカヨシガモ、コガモ、・・・。「ヒドリガモがいないね」と誰かの声が、するとヒドリガモが現れた。さらに、少し変わったヒドリガモの雛が居ると思ったら、「アメリカヒドリだ」の声。じっくりと見たのは初めて感激しました。その後タゲリの観察ポイントで、みんなで探したところケリを見つけましたが、遠くて稲の切り株越しに頭が見え隠れする状態でした。視線を感じたのか飛び立ちました。ケリの特徴がよくわかりました。少しピンボケですがその写真です。



昼食は、温水プールが臨時休館でその先の新しく出来た公園で食べた。そこでハプニングが。ベンチが所々にあり分散して食べていたら、上空を舞っていたトビが突然羽をすぼめて急降下、食べていたサンドイッチを獲られてしまいました。怪我はありませんでしたが、江の島から出張してきたトビだったのでしょうか？

昼食後出発、カワセミに会う。この辺はカメラマンが多いのか人口の止まり木が所々にあり、向こう岸から狙っていました。

蟹ヶ谷公園に着いて池の所で、カワセミを狙うカメラマン数人に会う。餌を採り終え、水浴びをしている所だと。撮られ慣れているカワセミでした。

鳥合わせで、43種を確認、2020年のおさめに相応しい充実した探鳥会でした。

見聞きした鳥 ヒヨドリ、トラフズク、アオサギ、トビ、チョウゲンボウ、キセキレイ、オオバン、カルガモ、トモエガモ、メジロ、ツグミ、コガモ、ダイサギ、ハクセキレイ、マガモ、カワウ、キジバト、カワラヒワ、ハシボソガラス、モズ、オカヨシガモ、ヒドリガモ、ケリ、タシギ、アメリカヒドリ(※後日城殿氏より精査したらヒドリガモとの交雑と判明したとの事)、チュウサギ、ノスリ、ホオアカ、タヒバリ、セグロセキレイ、カワセミ、カイツブリ、イソシギ、エナガ、シジュウカラ、バン、ハシボソガラス、ジョウビタキ、ツミ、キジ、スズメ、カシラダカ、ムクドリ (43種) 参考：ドバト

参加者 大石正子、酒井直美、新居誠、小林弘子、吉澤真弓、酒井進、佐藤武、嶋岡章、城殿博、飯島秀子、野崎直子、谷誠一、本田英昭 (13名)

江ノ島探鳥会

11月13日(金) 晴 8:35~11:50

谷 誠一

前回10月は雨で中止に成りましたが、今日は快晴で波も無く静かな日で、岩本樓の海岸は引き潮で岩の上には、ヒドリガモ38羽、コガモ2羽、オオバンが来てくれ、特にヒドリガモは毎年ここで海藻を食べ4月頃まで居ます。カモメ類は数が少なく、ユリカモメ2羽がセグロカモメに混ざっていただけです。ミヤコドリ1羽、クロサギ1羽、10月下旬ごろから来て居ます。

見聞きした鳥 ジョウビタキ、オオバン、イソヒヨドリ、ハクセキレイ、ウミネコ、ヒドリガモ、コガモ、トビ、ハヤブサ、アオサギ、メジロ、ヒヨドリ、ウグイス、スズメ、クロサギ、コゲラ、カワウ、ミヤコドリ、ハシブトガラス、シジュウカラ、ユリカモメ、セグロカモメ、ムクドリ、ハシボソガラス、キジバト、アオジ (26種)

参加者 北爪洋子、吉澤真弓、野崎直子、城殿博、田中一正、森静子、高橋和也、藤山素子、谷誠一 (9名)

12月11日(金) 晴れ 8:30~11:45
谷 誠一

江ノ島神社は、正月初詣の提灯飾り、櫓や電気配線の工事が始まりました。今年は何時もあるシロハラ、アカハラがまだ来ていません。イソヒヨドリ雄の縄張り争いがはじまり雄が目立ちます。ハヤブサは糞の個所が濃くなっていますが姿も無く、カメラマンも一人も居ない状況です。カモメ類はユリカモメが海に10羽位固まって居るだけ、カワウは島に40羽以上で、中に数羽胸の白いのが居ると、ヒメウが2羽混ざっています。ミヤコドリ1羽は別の島で餌を啄んでいます。

見聞きした鳥 スズメ、ヒヨドリ、オオバン、ヒヨドリガモ、ハクセキレイ、トビ、イソヒヨドリ、アオサギ、メジロ、シジュウカラ、ウグイス、ジョウビタキ、ウミネコ、ユリカモメ、セグロカモメ、ミヤコドリ、ヒメウ、カワウ、カンムリカイツブリ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、キジバト、カワラヒワ、アオジ、ムクドリ、エナガ、タカSP (チョウゲンボウかハイタカ) (27種)

参加者 藤本悦朗、田中正信、田中一正、佐藤武、野崎直子、藤山素子、高橋和也、谷誠一 (8名)

遠藤笹窪谷観察会

11月28日(土) 晴れ 9:00~11:50
谷 誠一

冬空の快晴日、3月以来の観察会です。現地に変化が、遠藤笹窪健康の森が2022年夏、公園開園予定で工事中。鳥の餌場が更地に成り冬鳥が全く居ません。池の予定地の水溜りには、セグロセキレイ、キセキレイが居ます。来年には水が溜まりカモ類が来てくれる事を願っています。高台の畑も新しい作物が植えられ全体の景色が変わりました。冬鳥を期待していましたが、数が少なく次回1月の観察会を期待します。

見聞きした鳥 チョウゲンボウ、ノスリ、トビ、モズ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、セグロセキレイ、キセキレイ、ハクセキレイ、ヒヨドリ、スズメ、カシラダカ、シジュウカラ、ウグイス、ツグミ、キジバト (16種)

参加者 浅野牧子、吉澤真弓、森要、蓑宮正弘、蓑宮康美、江面祐一、嶋岡章、実野悦子、大山厚子、谷誠一 (10名)

新林公園の山道を歩く会

11月10日(火) 9:05~11:20 晴れ

昨年の台風による倒木処理後に明るくなった法面に、ヒヨドリジョウゴの赤い実の群生を見、歩き始める。冬緑樹のオニシバリが緑の葉を広げ、ヤクシソウの黄色い花が群生、マムシグサ、ムサシアブミの実が赤く存在感を示し、シラヤマギク、シロヨメナ等のキク類、ムラサキシキブの実がこれぞ盛りと輝いていました。木々の間ではメジロの声がよく聞こえました。

今日は、年齢差 70+の 5 人での山歩きでしたが、心地よい天気のもとゆっくりと観察しながら歩きました。(藤山記)

見聞きした鳥 ハシボソガラス、シジュウカラ、アオジ、メジロ、エナガ、ヒヨドリ、コゲラ、ウグイス、ヤマガラ、トビ、ハシブトガラス、モズ、カワラヒワ (13 種)

参加者 田中美智子、小柴修子、小柴萌花、藤山素子、橋本孝 (5 名)

12 月 8 日 (火) 9:05~10:45 快晴
田中 正信

快晴、無風のもとで初めて本会に参加させていただきました。めったにないとのことでしたが、猛禽類 3 種もの飛翔が雲一つない青空を背景に望見でき、とても気持ちの良い歩く会でした。

先輩の方々が鳥の鳴き声を聞き分け、即座に姿を発見されるのみならず、植物にも関心、見識が深いことに驚きました。ご指導に感謝いたします。

見聞きした鳥 コゲラ、メジロ、ヒヨドリ、ウグイス、シジュウカラ、ハシブトガラス、アオジ、トビ、ミサゴ、ハイタカ、エナガ、カルガモ、ユリカモメ、ノスリ、ハクセキレイ (15 種)

参考：ガビチョウ、コジュケイ

参加者 田中正信、吉澤真弓、大橋温子、橋本孝、藤山素子 (5 名)

運営委員会報告

運営委員会では、下記の議題について討議されました。

11 月 1 日 四季報 249 号講評、次号 250 号について、来年の講演会について、1 月、2 月例会の計画など

12 月 6 日 四季報 250 号について、茅ヶ崎清水谷の結果報告、来年度の運営委員会についてなど

行事等案内

川名通年探鳥会

毎月第一日曜日

2 月 7 日 (担当：橋本、未定)

3 月 7 日 (担当：藤山、未定)

集合時間 8:00 ※雨天中止

集合場所

JR 藤沢駅南口名店ビル前地下道入り口付近

江の島探鳥会

毎月第 2 金曜日 ※雨天中止

1 月 15 日 (金) 1 月のみ第 3 金曜日です。

2 月 12 日 (金)

集合 8:30 解散 12:00 頃

集合場所 江の島弁天橋を渡った左の公園藤棚の下

連絡先 谷 0466-34-0381

遠藤笹窪谷観察会

1 月 30 日 (土) ※雨天中止

集合時間 9:00

集合場所 慶應大学バス停 旧スルガ銀行前 (更地)

解散 同上 12:00

健康の森の環境がかなり変わりましたが、探鳥会を行います。(慶応大学には入れません。)

担当者 谷 TEL0466-34-0381

新林公園の山道を歩く会

毎月第 2 火曜日 ※雨天中止

1月12日(火)・2月9日(火)

集合 9:00 新林公園パーゴラの下

解散 12:00頃 同上

連絡先 橋本孝 0467-85-6077

★ガンカモカウトにご協力ください★

今冬、カモ類は引地川(河口～しろした橋(小糸川合流点)間)に何羽来ているのでしょうか?

申込不要、当日現地でお会いしましょう。

日時:2021年1月23日(土)8:20小田急鶴沼

海岸駅出発→8:30頃引地川河口(R134鶴沼橋歩道橋下)

荒天時:1月24日(日)同時刻同場所

解散:11:30頃 しろした橋

担当&連絡先:藤山^注

<予告>日帰りハクチョウ類観察探鳥会

前号(249号)にてご案内の出発時刻を5分早く、到着駅を成島駅に変更しました。ご了承ください。

群馬県館林の北西部にある「多々良沼」には毎年多くのハクチョウ類が飛来します。一番多くみられる時期にハクチョウ類を観察しに出かけましょう。カモ類も見られます。

日時:2021年1月30日(土) ※雨天・荒天時は中止(前日17:00には決定)

集合: JR藤沢駅改札6:55集合、7:04上野東京ライン宇都宮行最前車両乗車(直通)→久喜下車8:59東武伊勢崎線区間準急館林行乗車→館林9:28着・9:34西小泉行→9:37成島着下車徒歩約20分で多々良沼着

※JR区間は「休日おでかけパス」¥2,720-を利用(交通費は2,720円+840円)

解散: 多々良駅15:07乗車→館林・久喜乗換にて藤沢駅17:43着を予定

持ち物: 観察用具、弁当、飲み物、防寒を十分に! (トイレ有)

※新型コロナウイルス感染の状況によっては中止とする場合もあります。

ご参加希望の方は前日までに参加のご連絡をして下さい。

担当・問合せ先: 藤山^注

注) 藤山 ☎ 0466-25-1817

Email: motoko-f@jcom.home.ne.jp

年会費について

年間 二千元です。納入されるときにはお間違えないようにお願いします。会計年度は4月から3月までです。

会費振込先; 郵便為替口座番号

00230-2-38355 藤沢探鳥クラブ

郵便局以外の銀行から振り込む場合は、

ゆうちょ銀行029店 当座0038355

フジサワタンチョウクラブ

なお、今年度からは探鳥会で現金でも受け付ける事になりましたのでよろしくをお願いします。

藤沢探鳥クラブ連絡先等

藤山 素子 0466-25-1817

HPアドレス; <https://fujisbwc.jimdofree.com/>

ご寄附のお願い

藤沢探鳥クラブの活動運営のためにご支援をお願い致します。頂きましたご寄付は会の活動のために有効に使わせていただきます。

※1,000円以上ご寄付くださった方には、藤沢探鳥クラブ特製のクリアファイルをプレゼントいたします!

会員の声

★片瀬漁港でウミスズメを見た！★

‘20.11/5 すっきり晴れた朝、ちょっと行ってみようと思いつき片瀬漁港に足を運びました。つり人が集まっている先端からの帰路(10:05)、海面にさざ波のような動きがありその上に何か！最初は小魚の群れが跳ねているのかと思いましたが、そこにはウミスズメが1羽さかんに潜水しては頭を出して絶え間なく動きまわっていました。船上探鳥では見た記憶がありましたが、目前5メートルの至近距離では初めてで忘れられないシーンとなりました。漁港内では、カンムリカイツブリ1、キンクロハジロ4を観察しました。(藤山 素子)

明けましておめでとうございます。
コロナ禍の終結が望まれるところで
す。冬鳥もきています、対策をして探
鳥に出かけましょう。
投稿先を下記します
今年も皆様のご協力をお願いします
嶋岡 章(原稿)
〒251-0052 藤沢市藤沢 545-72-401
e-mail: akiras.shimaoka@gmail.com
電話/FAX 0466-50-5816
青山 喜行(写真)
〒252-0816 藤沢市遠藤 930-5
e-mail: aoyama-y@jcom.home.ne.jp

お知らせ

●新型コロナウイルス感染の緊急事態に対応して、各探鳥会が開催中止となる場合もあります。

ご不明な場合は各探鳥会担当にお問い合わせください。

●探鳥会にご出席の時は下記事項をお守りください

- 発熱があり風邪の症状、味覚障害等諸症状のある方は参加しない事。
- 参加時は必ずマスクを着用する事。
- 必要により、消毒用アルコール類等を持参する事。
- 万が一に備え、連絡先の住所やメールアドレスを変更された方は連絡する事。
- 会話は極力避け、仲間との距離を常に確認し、濃厚接触を回避する事。
- 消毒等で発生したゴミ等は必ず持ち帰り、安全な処理をする事。

★その他の注意

- 望遠鏡、双眼鏡の貸し借りは禁止とします。
- 多数のご参加がある場合は2グループに分かれての観察とします。